

ガラス塗料 “グラノール” の塗装方法

グラノールの長所

- ・グラノールにはグラノール 6、8 はあり、6H、8H 鉛筆引っ掻き硬度を示します。
(ウレタン塗装は 2H 程度です。)
- ・木の内部の水分と反応し、硬化する。(含浸して硬化します。)
- ・1、2 時間で乾燥し、一日に 3 回塗りが可能です。
- ・メンテナンスとして、部分的な補修にも優れています。
したがって、無垢材等の割れなど補修後の塗装処理が容易です。
- ・塗装前の木地仕上がりが良ければ、素人さんでも十分に対応出来る。
- ・特に艶消しの場合には木そのものの味を出せます。
- ・グラノールはアルコール溶媒にガラスに変化する成分が溶けていて加水分解、脱水重縮合によりの膜を形成し、硬化して引っ掻き硬度を保持し、お子様が舐めても安全な塗料です。
- ・ウレタン塗装程ではないが、撥水、防水性があります。
(濡れたコップでの輪じみが 2 時間程度は防げます。)

グラノールの短所 注意事項

- ・水回り使用にあたっては、水滴等は 2 時間以内に拭きとってほしい。
- ・グラノール仕上げ塗装前に色付けの自然塗料を使用する場合には十分に自然塗料の乾燥が必要であり、不十分な場合にはエタノールが自然塗料を拭き取ってしまう。(単に色付けを付ける場合は乾燥の早い石油系が使い易い。)
- ・ガラス面と接すると接着力が強くなり剥がれにくく注意が必要。
- ・塗料は空気中の水分と反応し、硬化しますので、使用するだけ出して使いきる。
余ったからといって絶対に元の缶には戻さない。
- ・うすめ液は純度高い水分をほとんど含まないエタノールが必要である。
- ・グラノールは布に含ませて伸ばして使用し、あまり厚布等では塗料のロスが大きくなる。
- ・グラノールはエタノールの蒸発等の対策が必要である。タッパ等の蓋付の容器にて仮保管して下さい。
- ・グラノールは一度封を切った缶は在庫 1 年くらいで考えた方が良いでしょう。新品でも 1～2 年で使い切るつもりで大量の在庫は避けたほうが無難です。

グラノール 6、8 の違い

グラノールは塗料として密着や耐久性を得るためにガラス膜に有機樹脂を分散する形で含んでおり、この量の大小で硬度、粘度、撥水性などが変化します。そして、グラノール 6 は鉛筆引っ掻き硬度が 6H で粘性が高く、杉材などの染み込み易いものはそのまま使用し、一般的には 30% 希釈して使用します。これだけで仕上げる場合もあります。例えば 床板、柔らかいパイン材等。また、最近、グラノール 6 でもマット剤を使用して艶調整が可能になりました。カウンター、テーブル等であれば、下塗り剤と考えた方が良いでしょう。

グラノール 8 は仕上げ剤です。鉛筆引っ掻き硬度 8H で程よい伸びで仕上げしやすく、マット剤（シリカゲル）を使用しての艶調整を致します。また、艶調整は最終塗装にて行います。

全消しの場合：グラノールのマット剤 7～10% 混入。

7%はウォールナット等の濃い色の樹種。

10%は桧等の淡色の樹種。

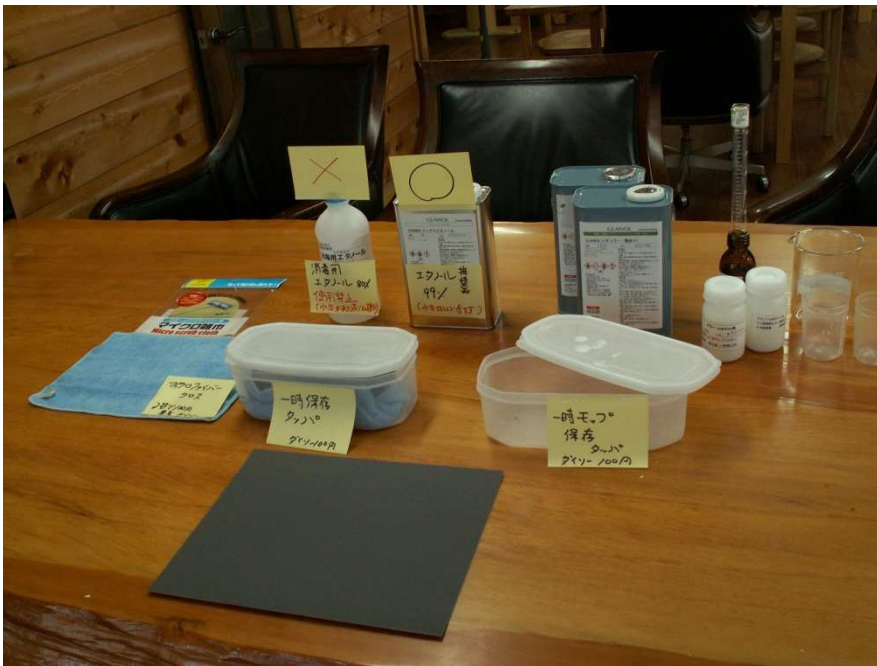
一般的なテーブル、カウンターの塗装方法

- 1 木表面の研磨確認。
- 2 下塗り剤グラノール 6 をうすめ液にて 30% 希釈して塗布します。
 - 1 回目は液だまりに注意して良く染み込ませながら塗布します。
乾燥後、サンドペーパー400 #程度で本当に軽く毛羽立ち等を除去し清掃。
 - 2 回目は薄く伸ばして塗布します。
乾燥後、サンドペーパー400 #程度で軽く毛羽立ち除去、清掃。
- 3 仕上げ塗りグラノール 8
 - 1 回目グラノール 8 を薄くのばして塗布します。
乾燥後、多少ザラザラ感がある箇所をサンドペーパー400 #程度で除去、清掃。
 - 2 回目最終塗装であればここでマット剤をグラノール 8 に混入し、艶調整。
目安として全消し 7～10%
50%消し 4～5%
ウォールナット等の濃い素材は多くても 7%位として下さい。それはマット剤が多いと成分のシリカゲルの粒子が白く見えることがあります。
また、マット剤は沈殿し易いため、良く攪拌してから混入して下さい。
不十分ですと目標の艶に達しません。
- 4 養生
即使用される場合でも最低 2 時間程度はものを載せないで下さい。
3 日で 90%以上の硬化致しますので、出来ましたら 3 日間の養生をお薦め致します。

グラノール 6 だけで塗装する場合

素材が柔らかく、吸い込みが多いもの桐材、杉材などで塗膜の下の木地が柔らかいものであるならば、あえてグラノール 8 を仕上げに使う必要がないと思います。したがって塗膜が硬くても下の木地が柔らかければ、傷はつきやすい。前述のように塗装、研磨を繰り返して 3 回程度塗布し、最終塗装で艶調整を行う。

塗装準備品



グラノール 6、8
うすめ液
マツト剤（艶調整）
計量器
ウエス
タッパ 2 個
サンドペーパー 400#



ウエス（白物）
木片にウエスを巻きつけたモップ

***ここでのマイクロファイバーは青色が塗料に染み込んで失敗。

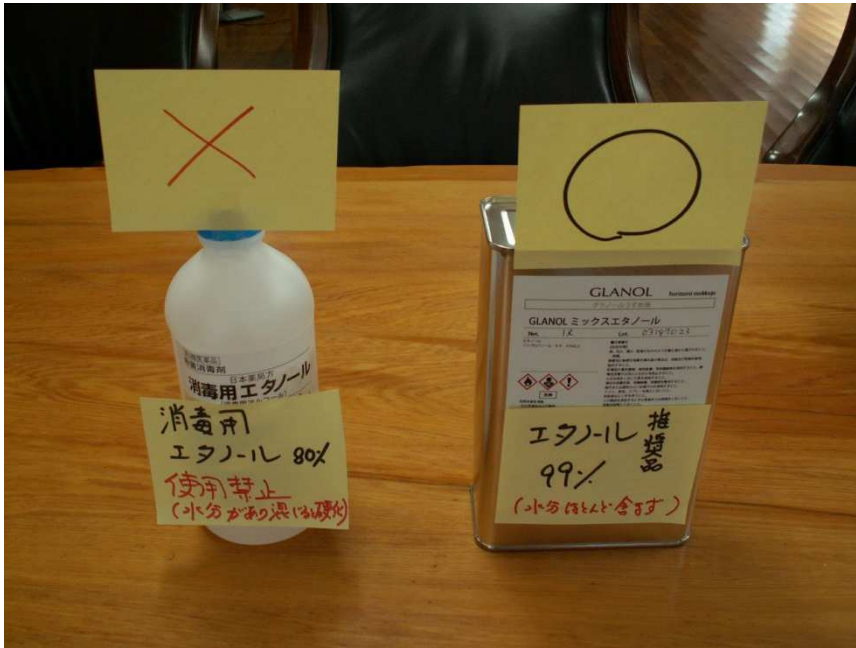


モップ一時保管

小分け取り出し蓋付容器

使用したモップ保管タッパ。
塗料保管タッパ。

***塗料の蒸発、硬化を防ぐ対策が必要。
残った塗料は絶対に缶に戻さないこと。



うすめ液エタノール 99%です。

薬局で販売されている消毒用エタノールは 80%で水分があり、グラノールに混ぜると即硬化が始まります。使用は絶対にしないでください。

以上、グラノールの塗装方法等を述べてきましたが、あくまでも個人的な見解も含まれております。極端な間違いはないと思いますが、ご了解下さい。

リフォームから7年経過した我が家のキッチンのレンジフード脇の側板の汚れ具合ですが、グラノールを使用しているので油污れに対して拭きやすく以外と綺麗に維持しております。

今後もいろいろな場面でグラノールが使われるものと思います。

株SNC 住設事業部 Da・Monde 鈴木
平成 27年 10月 19日